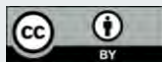




つながる書誌2.0

大向 一輝

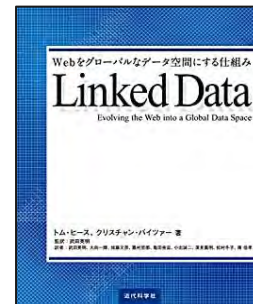
東京大学大学院人文社会系研究科・文学部



この資料は [クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際 ライセンス](https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/)の下に提供されています。

自己紹介

- ウェブ情報学の研究者(2005~2019)
 - インターネットのコミュニケーション
 - ブログ・SNS・Wikipedia
 - インターネットとAI
 - コンピュータが「理解できる」情報のかたち
 - セマンティックウェブ・LOD・知識グラフ
 - インターネットと学術コミュニケーション
 - 論文・書籍の検索エンジンCiNii
 - NACSIS-CAT/ILL
 - JAPAN/MARCとの相互運用性(CAT2020)



国立国会図書館サーチ書影API

自己紹介

- デジタル人文学の研究者(2019~)
 - デジタルアーカイブ構築の「民主化」
 - 大江健三郎文庫
 - 文化資源の検索エンジン
 - メディア芸術データベース
 - マンガ・アニメ・ゲーム
 - 全国美術館収蔵品サーチ
 - 近現代の美術作品・作家
 - 人文学のDX・人文学とAI



書誌の将来像: アクセス・ポイントからターゲットへ

- 情報行動の結果として(最終的に・中間的に)アクセスされるべき地点を識別する
 - 内容自体を検索対象とする情報技術の進展
 - OCRを用いた全文テキスト化
 - 画像からの説明文生成
 - 例:次世代デジタルライブラリー
 - 人間の認知限界
 - 断片的かつ大量の検索結果を把握できない
 - コンテキストを理解するための「出版物」「出版行為」
 - 「いつ・どこで・誰が・何を」を記録するタイムスタンプ

書誌の将来像:タイムスタンプとヒストリー

共催するデジタル人文学とデジタルアーカイブ (デジタルアーカイブ・ベーシックス)
紙 図書 国立国会図書館 全国の図書館
鈴木親彦 責任編集 勉誠社 2023.7 <H11-M93>
目次・記事
...DH、大学をつなぐDAとDH 大向一輝 執筆著者一覧
内容概要
...著 高岸輝 / 著 小風純乃 / 著 大向一輝 / 著 赤間亮 / 著 永崎研宜 / ...DH、大学をつなぐDAとDH 大向一輝 著 赤間亮 / 著 永崎研宜 / 著 高岸輝 / 著 小風純乃 / 著 大向一輝 / 著 赤間亮 / 著 永崎研宜 / ...高岸輝 著、小風純乃 著、大向一輝 著

デジタル時代のアーカイブ系諸学
紙 図書 国立国会図書館 全国の図書館
柳与志夫 監修, 加藤諭, 宮本隆史 編 みすず書房 2022.12 <UL31-M28>
目次・記事
...に2 アーカイブの技術史 大向一輝 はじめに / 1 デジタル技術の特性 / 2 デジタルアーカイブの...
内容概要
...藤原著、アーカイブの技術史 大向一輝 著、博物館・図書館・文書館が...論著 宮本隆史 著 加藤諭 / 著 大向一輝 / 著 高村哲郎 / 著 福島幸宏 / ...宮本隆史 著、加藤諭 著、大向一輝 著、高村哲郎、加藤諭、福島幸宏 著、福島幸宏 著...

司書名鑑: 図書館をアップデートする人々
紙 図書 国立国会図書館 全国の図書館
岡本真 編著 青弓社 2022.11 <UL711-M18>
目次・記事
...めの勉強 司書名鑑 No.5 大向一輝 [国立情報学研究所] ウェブが人々の生活を変える / N I I に就...
内容概要
井上昌彦 谷合佳代子 谷一文字 嶋田学 大向一輝 鎌谷奈穂子 柳与志夫 是住久...書館開設準備室 嶋田学 / 述 大向一輝 : 国立情報学研究所 大向一輝 : 述 谷一文字 / 述 嶋田学 / 述 大向一輝 / 述 鎌谷奈穂子 / 述 柳与志夫 : ... 瀬戸内市新図書館開設準備室 大向一輝 : 国立情報学研究所 鎌谷奈穂子 : ...谷合佳代子、谷一文字、嶋田学、大向一輝、鎌谷奈穂子、柳与志夫、是住久美子、平賀研也、佐藤潔、山崎博...

大学図書館員のためのIT総合研修2022
紙 図書 図書館 国立国会図書館
大向一輝 国立情報学研究所 2022-08-24

特集: 編集委員 今年の抱負2024 「他者の他者性と人工他者」
大向一輝 人工知能 39 (1), 12-12, 2024-01-01
DOI

歴史マイクロナレッジの提唱とHIMIKO (Historical Micro Knowledge and Ontology) システムの実装
小川, 潤, 北本, 朝展, 大向, 一輝 じんもんこん2023論文集 2023 105-112, 2023-12-02
本稿は、歴史資料に記述された出来事や状況、人やモノの関係性といった歴史事象の具体的な記録そのものを「歴史マイクロナレッジ」として知識グラフで構造化するモデルであるHIMIKO (Historical Micro Knowledge and Ontology) について論じる。HIMIKOは、...
情報処理学会

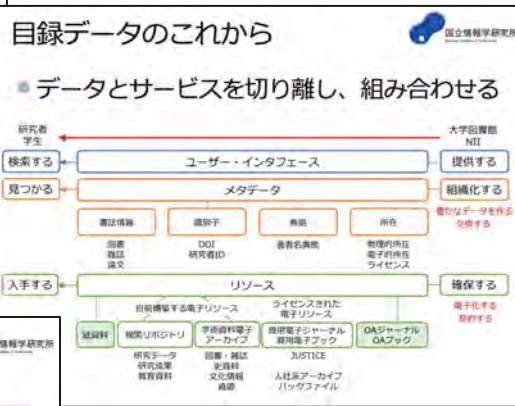
SxUKILAM教材アーカイブのLOD化: RDFとSPARQLによるデジタルアーカイブを活用した教材と多様な教育情報の接続・構造化
大井, 将生, 中村, 寛, 大向, 一輝, 渡邊, 英徳 じんもんこん2023論文集 2023 73-80, 2023-12-02
本研究の目的は、DA資料を用いた教材と多様な教育情報を機械可読性の高い形で接続・構造化するLODモデルを構築することである。そのために、SxUKILAM教材アーカイブのデータを用いたRDFデータセットとSPARQLエンドポイントを開発する。その結果、教材と学習指導要領コードやジャパサーチ、NHKの動画コンテンツなどの教育情報を機械可読性の高い形で接続し、...
情報処理学会

OCRの高精度化を踏まえたデジタル学術編集版の新展開
永崎, 研宜, 大向, 一輝, 下田, 正弘 じんもんこん2023論文集 2023 177-182, 2023-12-02
筆者らは、仏典研究のためのデジタル研究環境の構築に関わる研究開発の一環として、近年公開された国立国会図書館による古典籍OCRを例にとり、高精度OCRがもたらす新しいデジタル学術編集版の可能性を実現するシステムを開発した。本発表では、その背景と意義、そして実際の開発にかかわる内容について報告し、今後の課題について検討する。
情報処理学会

つながる書誌

つながる目録、つながるサービス

国立情報学研究所
コンテンツ科学研究所・コンテンツシステム開発室
「これから委員会」委員
大向 一輝



発見とアクセスのためのデータ

ユーザー

アクセスレイヤー

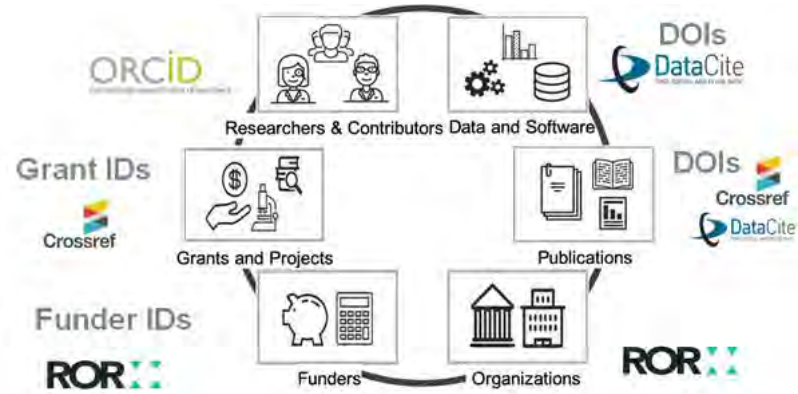
認証

所蔵 契約

発見レイヤー

図書書誌 海外記事 国内記事 EBook書誌 海外記事 国内記事 海外OA 国内OA 雑誌タイトル Eタイトル

図書館総合展2015



PIDs and their metadata promote Open Science
CC BY 3.0 PID Competence Center

つながる書誌2.0

- 外部データベースとの相互連携
 - 永続的ID(PIDs)のネットワークに参加する
 - 著者ID・機関ID・プロジェクトID...
- タイムスタンプの対象を拡張する
 - 書誌の内側にあるターゲット
 - 例: 学術書の各章を単体の論文と同じ扱いにする
 - 人文学における評価の枠組みと一致させる
 - 書誌の外側にあるターゲット
 - 例: 著作の時系列的変遷を明示する
 - 文庫化・全集化・シリーズ・続編...
- 目的指向の設計と実践

つながる書誌のプラットフォーム

- 全国書誌データの内容を拡充すべきか？
 - Yes, but...
- 環境整備とインセンティブの提示
 - 書誌内書誌の記述方法・ID参照方法・公開方法
 - データはそれを必要とする人がすでに作っている
 - 情報サービスのプロトタイピング
 - 「うまくいった未来」を先取りする
- ファシリテーターとしてのライブラリアン